

書評

看護のための ファシリテーション

学び合い育ち合う組織のつくり方



- 編著 中野民夫／浦山絵里／森雅浩
- 定価 本体 2400 円＋税
- 判型 A5
- 頁数 224
- 発行 医学書院

評者

株式会社アイナロハ 代表
札幌市立大学 非常勤講師
渡邊大地

「プログラムデザインマンダラ」に魅せられて。

初めてのオンライン両親学級

私は産婦人科の両親学級講師をしています。2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、レギュラー講師を務めている産院の学級も、保健センターや自治体から依頼されていた講座も全て中止になりました。それでも妊娠は待たなすから、マタニティのご夫婦たちは、突然両親学級受講の道が絶たれてとても不安な思いをされたことと思います。

そこで、自宅のパソコンやスマホから受講できるオンライン両親学級を運営することにしました。初めての試みでしたが、すぐに満席になり、全国に同時にオンライン上でファシリテートするという貴重な経験をさせていただきました。

受講者は自宅でリラックスして受講できるし、私も自宅に居ながらできると、よいことづくめで、「なぜ今までやらなかったんだろう？」と思ったくらいです。ただ、予想外だったことは、いつも2時間で開催しているプログラムが、オンラインでは2時間に収まらなかったんです。やり取りにタイムラグが生じてしまうので、リアルな場での学級よりも時間がかかってしまうんですね。

「見える化」で課題発見

そこで、初開催後、すぐに取りかかったのが、中野民夫先生がファシリテーション関連のご著書で紹介されていた「プログラムデザインマンダラ」の作成です（「プログラムデザインマンダラ」は『看護のためのファシリテーション』の中でも解説されています）。

これは、自分のファシリテートするプログラムを時間軸に沿って起承転結にゾーン分けするという、プログラムを

「見える化」するためのワークです。初めに読んだ時には、「こういうのは頭の中で散々やってるから」と読み流したのですが、あるとき、自身の両親学級プログラムに行き詰まりを感じ、わらにもすがる思いで「プログラムデザインマンダラ」を作成してみました。

すると、自分のプログラムの課題点がいともあっさり浮き彫りになり、同時に、課題クリアの糸口もつかめたのです。私の中野先生の信者（笑）になったきっかけです（弊社には中野先生のご著書が5冊あります）。それからというもの、両親学級だけでなく、講座や講演、自社の社員研修・ミーティングでも、「プログラムデザインマンダラ」を作成してから臨むようになりました。

ファシリテートを支える魅力的なワーク「進行表」

今回もそうでした。「時間が足りない」という課題をクリアするためには、まず、何を削るか、または、どこをスピードアップさせるかを考えなければいけないわけですが、削る箇所の目星がついたからといって、そこをぱったりカットすれば済むかという、そうではありません。削った箇所のフォローなどを含め、プログラム全体のバランスを調整する必要があります。「プログラムデザインマンダラ」の出番です。

そのおかげで、2回目以降は2時間の枠でぴったり収まるプログラムを自信を持ってお届けできるようになりました。

課題をクリアして心に余裕ができたので、さっそく中野先生の著書『看護のためのファシリテーション』を読み始めたところ……今度は「進行表」になりたいへん魅力的なワークが登場しているじゃないですか！

私が慌てて「進行表」作成に取りかかったことは言うまでもありません。